

機械器具（25）医療用鏡
一般医療機器
可搬型手術用顕微鏡
JMDN：36354020
特定保守管理医療機器 **手術用顕微鏡 KINEVO 900**

【警告】

- 使用前に毎回以下の項目を確認すること。
 - ・ 本装置の機械的な接続が適切になされていて、各部取り付けネジが確実に締められており、各部に緩みなどがないこと。[部品落下、接続不良のおそれ]
 - ・ 本装置のバランス調整が最適になされていること。[誤動作、機器の故障のおそれ]
 - ・ 光源装置内に、2つの電球が格納されており、いずれの電球も正しく点灯すること。[手術延長、遅延、中止のおそれ]
 - ・ 電源コードは医用施設の接地された医用コンセントに直接接続すること。[電気の不具合、感電（電気ショック）、発火（発煙）、機器の故障のおそれ]
 - ・ 本装置を起動後に実施されるセルフテストの結果、いかなるエラーも検出されないこと。エラーが検出された状態のまま使用すると、使用中に機能が停止することがある。[手術延長、遅延、中止、機器の故障のおそれ]
 - ・ キセノンランプは構造上破裂の恐れがあり、有効時間を超過した場合はその確率は高くなるため、システム起動時にランプ交換を促すメッセージが現れたら速やかに予備のランプに交換すること。施設ごとの使用状況により異なりますが、2年毎もしくは500時間毎の短い期間側での交換を推奨する。[手術延長、遅延、中止、機器の故障のおそれ]
 - ・ 本装置はワイヤレス（無線式）フットスイッチに対応しているため、使用にあたっては本書〔併用禁忌〕を参照すること。[誤動作、機器の故障のおそれ]
 - 使用中は以下の項目に気をつけること。
 - ・ 光源を直接見たり、対物レンズを覗きこんだりしないこと。[眼機能障害や眼、後眼部、網膜疾患のおそれ]
 - ・ 手術部位に対する照明の明るさと照射時間は最小限に抑えること。どのような種類の放射も、生体組織には悪い影響を及ぼす可能性がある。[組織障害のおそれ]
 - ・ 手術用顕微鏡の観察視野範囲以上にわたり、手術部位及びその周辺組織へ照明がされている場合には、手術部位及びその周辺組織の変異に注意すること。組織乾燥や熱傷が発生するおそれがある。[組織障害のおそれ]
 - ・ 特に次の場合に注意を必要とする。
 - 鏡基対物レンズの焦点距離（作業距離）が短い状態で、手術部位及びその周辺組織へ長時間照明をする場合。（作業距離 200mm 照明値 50%以上の場合は、生理的な温度を超える論文報告があり。）*
 - 照明の明るさを高く設定している場合。
 - 血流の少ない組織へ照明をする場合。
- 冷却対応例：
- 手術対象部位へは、生理食塩水を頻繁にかけること。冷却対応により、照明光による熱作用を軽減させることができる。
 - 手術対象部位以外は、滅菌済み濡れガーゼ等で覆うこと。これにより、照明にさらされることが避けられる。
- ・ 光源装置の換気口を塞がないこと。火災を起こすおそれがある。[電気の不具合、感電（電気ショック）、発火（発煙）、機器の故障のおそれ]
 - ・ モニター上で提供される画像は補助的なものであり、手術中に術者が必要と判断した場合には対象部位を直接観察すること。[組織障害、誤診による健康被害]
- 使用後は以下の項目に気をつけること
 - ・ 移動時には当社指定の位置にアームを移動し、ロック機構で固定してから移動すること。本装置の破損や他の機器への破損を起こす可能性がある。[部品破損、機器の故障のおそれ]

【禁忌・禁止】

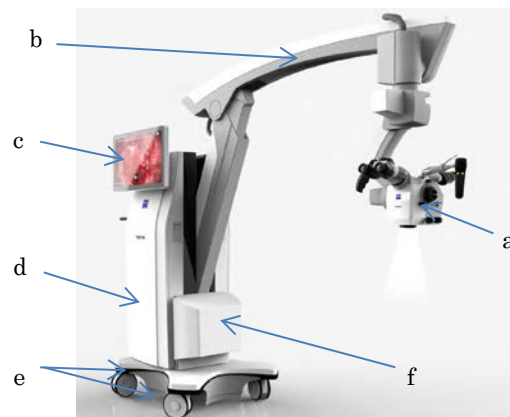
- 以下の場所では使用しないこと。[発火（発煙）、機器の故障のおそれ]
 - ・ 爆発の危険のあるところ。
 - ・ 引火性の麻酔薬、アルコール、ベンジン、又は類似薬品等、揮発性又は引火性の溶剤のあるところ。
 - ・ 湿気のあるところ。
- 当社が提供する付属品、オプション品以外は使用しないこと。他社のアクセサリは、安全上及び性能上問題がないことを製造元へ確認すること。[誤動作、部品落下、接続不良、電気の不具合、感電（電気ショック）、発火（発煙）、機器の故障のおそれ]
- 提供される表示を診断の目的に使用しないこと。[誤診による健康被害]
- キセノンランプは高輝度で、昼色光に近似したスペクトラムであるため、眼科手術あるいは直接眼に照明を行う手術には絶対に使用しないこと。点灯時間が500時間を超えたキセノンランプは使用しないこと。[誤動作、部品落下、発火（発煙）、機器の故障のおそれ]
- 当社が認めた者以外は修理しないこと。絶対に分解、改造を行わないこと。[誤動作、部品落下、接続不良、電気の不具合、感電（電気ショック）、発火（発煙）、機器の故障のおそれ]
- 機器の近くで携帯電話の使用はしないこと。電磁波障害により機器の誤作動の原因となりえる。[誤動作、機器の故障のおそれ]
- 使用前点検時もしくは使用時に故障と判断した場合には、直ちに使用を中止もしくは停止すること。この場合、適切な処置が完了するまで、本装置を使用しないこと。[誤動作、部品落下、接続不良、電気の不具合、感電（電気ショック）、発火（発煙）、機器の故障のおそれ]
- 発煙、火花、異臭又は異音がする場合またはそれ以外の異常を感じた場合には、直ちに電源から電源コードを外すこと。この場合、適切な処置が完了するまで、本装置を使用しないこと。[電気の不具合、感電（電気ショック）、発火（発煙）、機器の故障のおそれ]

【形状・構造及び原理等】

＜構成＞

本品の形状、構造は以下の通り。

- 顕微鏡基本体
- 顕微鏡懸架部
- タッチスクリーン
- 制御機構
- キャスター
- 照明装置（蓋）



構成についての詳細は取扱説明書を参照のこと。

取扱説明書を必ずご参照ください。

機能	仕様
ズーム	電動ズーム（ $\gamma=0.4\times\sim 2.4\times$ ）で術野を拡大
フォーカス	作業距離 200mm～625mm で焦点調整 オートフォーカス機能付き
録画機能	内蔵カメラで映像を記録
照明	キセノンランプによる照明 （熱線カットフィルタ使用） オプションで、IR フィルタ、ブルーフィルタ、イエローフィルタを追加可能

Technical diagram of the Tactera mobile workstation, illustrating its 6-axis articulation and dimensions.

Axis 1: $n \times 360^\circ$ rotation.

Axis 2: $-23^\circ / +22^\circ$ rotation.

Axis 3: $-28^\circ / +20^\circ$ rotation.

Axis 4: $-30^\circ / +120^\circ$ rotation.

Axis 5: $\pm 45^\circ$ rotation.

Axis 6: $\pm 225^\circ$ rotation.

Dimensions:

- Base width: 736mm
- Base depth: 736mm
- Arm length (to end effector): 1635mm
- Maximum height: 最大 1760mm
- Height to end effector: 875 - 1970mm
- Overall height: 1940 - 2660mm

Features:

- タッチスクリーン (Touchscreen) with Rotation: $0^\circ - 125^\circ$ and Tilting: $-20^\circ - +5^\circ$.
- 移動方向 (Movement direction) indicated by a blue arrow.

AP03-61V03-TKN19G16-2/3

<その他の注意>

- 移動時以外はスタンドベースに装備されているブレーキストッパーを効かせておくこと。
- 電源コードあるいは他のケーブル接続を引っ張らないこと。
[破損、接続不良のおそれ]
- コネクタの接点には触れないこと。
- 本装置に設定されている電圧が使用場所での電圧に対応していること。接続される医用コンセントの電気容量は、本装置の可動に十分であること。[電気の不具合のおそれ]
- 必要に応じて、等電位化装置に接続すること。[電気の不具合、感電（電気ショック）、発火（発煙）機器の故障のおそれ]
- 本装置は医科向けに設計されており、それ以外の用途には使用しないこと。
- 付属の電源コードセットは、本装置専用であるため、他の機器には使用しないこと。
- 機器の突然の故障により、手術の目的の達成や患者の安全が脅かされることがないように、予備の対応を検討しておくこと。
- 機器の消毒は外観の手入れを参照して行うこと。
- ランプは高温のため 10 分程度冷却するまで交換しないこと
- 起動時に光源の点検もしくはランプ交換を促すメッセージが表示されたら、取扱説明書を参照し、予備のランプと交換すること。またその場合には速やかに旧ランプを取り出し、新しいランプと入れ替えること。
- マルウェア（コンピュータウイルスやワームなど、感染したコンピュータに被害を与える悪意あるソフトウェア）の感染を防止するために、次の事項を守ること。
 - ・ セキュリティ管理されていないネットワークに接続しないこと。
 - ・ インターネットに接続しないこと。
 - ・ メディア（DVD、CD など可搬記録媒体）使用前には、使用メディアがマルウェアに感染していないことを確認すること。
 - ・ マルウェアに感染するおそれがある行為をしないこと。
 - ・ 本システムで指定されている以外のソフトウェアをインストールしないこと。あらかじめインストールされているソフトウェアをアンインストールしないこと。また OS 及び OS に付帯するファイルとアプリケーションソフトの設定変更をしないこと。さらに OS 及び本システムに付帯するアプリケーションソフトウェアを本システムの使用目的以外で使用しないこと。
 - ・ 本ソフトウェアの使用にて生じた患者データなどの重要データの消失については保証できない。万が一の場合に備え、データのバックアップ等を考慮して使用すること。

【保管方法及び有効期間等】

<保管方法>

- 本装置を保管する前に、下記の条件を満たす事を確認すること。
 - ・ 水の被らない場所。
 - ・ 気圧、温度、湿度、風通し、日光、ほこり、水分、イオウ分などを含んだ空気などにより悪影響を生ずるおそれのない場所
 - ・ 温度：-20℃～+40℃
 - ・ 相対湿度（結露不可）：10%～92%
 - ・ 気圧：500 hPa～1060 hPa
- 傾斜、振動、衝撃（運搬時を含む）など、安定状態に注意すること。
- ほこりがかからないようカバーをかけること。
- 本装置を使用しない保管時には、スタンドベースに装備されているブレーキストッパーを効かせておくこと。

<耐用期間>

定期的に業者による点検を行った場合：5 年（自己認証）

[保守用等の部品は製造中止後 8 年間保持]

【保守・点検に係る事項】

点検の項目は以下のとおり。使用を妨げないように十分に余裕を持って行うこと。点検中に異常を感じた場合は、取扱説明書を参照して確認すること。それでも解決しない場合は、当社テクニカルサービスに連絡すること。

また、本装置を安全に使用するために、当社による 12 ヶ月毎の点検を推奨する。

<使用者による保守点検事項>

- 外装に瑕疵、変形などがないこと。
- 配線等に亀裂、断線がないこと。
- 機械的な接続が適切になされていること。
- 各部取り付けネジが確実に締められていること。
- 各部に緩みなどがないこと。
- 電源を入れて問題なく起動すること。
- 照明が問題なく点灯すること。
- キセノン光源のカウンターの表示が有効時間を超えていないこと。
- バランスがしっかり取れて入ること。
- 照明の設定が必要最低限になっていること。
- 各モードの焦点位置の確認。
- 本装置から異音、異臭がしないこと。
- 実装されている電球以外に予備電球が用意されていること。
- 本文書ならびに取扱説明書が本装置の使用者が参照できるところに置いてあること。

<業者による保守点検事項>

12 ヶ月以内に各部清掃、機能点検、安全点検を行う。

<外観の手入れ>

外装に汚れがある場合は、エチルアルコールと蒸留水の 5 対 5 の混合液に少量の中性洗剤を含ませたやわらかい物で拭くこと。クリーニングを行う際は、本体の電源スイッチを切ること。

<レンズの清掃>

レンズに汚れがある場合は、クリーニング剤は決して使用せず、ブローアーか清潔で油分のないブラシなどで払うこと。

<曇り止め>

レンズを曇りから守るため、市販の曇り止めを使用すること。

詳細は取扱説明書を参照のこと。

【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】*

製造販売業者： カールツァイスメディテック株式会社

**電話 0570-021311

輸入先国：ドイツ

製造業者：Carl Zeiss Meditec AG

取扱説明書を必ずご参照ください。